

## 知事コメント

令和4年4月14日(木)

本日時点病床使用率は47.6%。先週木曜日(4/6)と比較しますと1週間で10ポイント以上の急速な上昇となっています。

圏域別では、特に沖縄本島の病床使用率が高く、13日時点53.1%となっており、入院調整の困難が生じる水準として、県がまん延防止等重点措置の要請を検討する目安としている60%に近づいております。

入院者について、直近1週間の推移では70代以上の高齢者を中心に増加がみられており、新規入院者数の半数以上が70代以上となっています。

一方で、新規陽性者数をみますと、10歳未満、10代で全体の3分の1以上を占めており、10歳未満、10代、30代では第6波を超えて過去最多の陽性者数が確認されるなど大きな流行となっています。

今回の流行は第6波の20代を中心とした爆発的な感染拡大とは異なり、様々な世代でじわじわと増加し、高齢者施設や家庭内等を通じて、重症化リスクの高い高齢者へと伝播してきております。感染拡大の勢いを弱め、そして重症化リスクの高い方々を守ることが必要です。

先般これらの状況について、私より各部局に新型コロナ対策への取り組みについて改めて指示したところです。この間、感染症専門家や経済対策関係団体等からもご意見を伺い、本日それらの取り組みをとりまとめ、県対処方針を変更し「感染拡大を抑制し社会経済活動を継続するための対策期間」を決定致しました。その概要についてお知らせします。

まず、新規入院者数の半数以上を占めます高齢者に感染を拡げないために、高齢者入所施設等に対する支援体制を強化することと致しました。

具体的には、感染の早期覚知のため介護職員向けの定期PCR検査参加を改めて呼びかけるほか、施設内で感染が確認された際の支援として、重点医療機関や医師会と連携し、那覇、南部圏域、中部圏域において、病院輪番制による支援を実施するとともに、県医療機関施設支援グループの職員数を増強し連携を図ってまいります。

また、感染が発生した高齢者施設や、在宅の高齢者世帯で、介護者であるご家族が感染した場合などの緊急時に、応援可能な施設等からの職員の派遣に関する調整を行い、必要な介護サービスの提供に取り組んでまいります。

高齢者の皆様はご自身でも、感染リスクの高まっている現状を踏まえ、(4月28日までの期間において、)できるだけ同居家族以外の方と会うのを控え、ワクチンの接種をお願い致します。高齢者のいるご家庭においても、感染リスクの高い行動は控え、家庭内に持ち込むことを避けて頂きますようお願いいたします。

そして、新規陽性者数の3分の1を占めます10代以下の子どもたちを感染から守る必要があります。県としまして、子どもたちの感染をいち早く発見できるよう学校保育PCR検査について更なる強化を行うことと致しました。検体回収等を行う現場派遣チームを増強し、効率的な検査実施に取り組んでまいります。

また今般、専門家等の知見を頂き児童生徒保護者向けパンフレット「感染予防4つの基本」を作成致しました。先日教育庁より公立学校等に周知を依頼しております。(パンフレットの)Q&Aの中では「どのような状況であってもマスクを着用すべきですか」といった保護者の方々が子どもたちの感染対策を考える上で参考となるような内容もまとめておりますので、ご参照頂き子どもたちを感染から守る為に一緒に取り組んで頂きたいと思っております。

子どもたちは、屋外で遊ぶことの他に、自室や友人の部屋で集まってゲームをしたりする場面も想像されます。パンフレットにも記載しておりますが、人が集まる部屋は風通しをよくして下さい。換気をすることで空気中のマイクロ飛沫を室外に排出可能です。周囲の大人の皆様も子どもたちの感染対策について気を配ってあげて下さい。

最後にワクチン接種に関する取り組みです。疫学統計解析委員会の報告によると、ワクチン接種が1回目、2回目、3回目と進むにつれ、50代から80歳以上のどの世代においても、入院受療率が低下する傾向がみられ、致死率についても低下する傾向がみられています。

今般各部局から関係団体等に、改めてワクチン接種の勧奨等についてお願いしておりますので、1、2回目接種を含め3回目接種がまだの皆様においては、県、市町村 利用可能な会場で早期の接種をお願いいたします。

県は、広域ワクチン接種センターにおいて、企業・団体枠の設置、接種券なしでの接種及び予約なしの当日受付を行うなど、県民が早期に接種できるよう取り組んでいるところです。

企業・団体枠については、大学や専門学校等においても2回目接種から6カ月以上経過する18歳以上の方20名以上において申込みが可能ですので、県ワクチン・検査推進課までご相談ください。

現在、県新型コロナ対策本部には県内の新規陽性者数の増加傾向を踏まえ、一昨日(4/12)から政府よりリエゾンチームが派遣されております。また、本日この後、新型コロナ対策・健康危機管理担当相の山際大臣とテレビ会議にて面談し、ワクチン接種の推進等について意見交換したいと考えています。

県民の皆様。これからGWまでの2週間は、3年ぶりに制限なくGWを過ごすために重要な正念場となります。県としまして、陽性者数の多い年代や重症化リスクの高い年代への対策を行うことで医療のひっ迫を防ぐために取り組んでいますが、ここで抑えられないとなれば強い措置も検討しなければなりません。

そのために、皆様、この2週間、普段行っている感染対策の意識をさらに高めて、一つ一つの感染防止のための取り組みをしっかりと行って下さい。一緒にこの正念場を乗り越えてまいりましょう。宜しくお願い致します。